

家庭学習の進め方

- ・ 今、自力で学習する力を養う
- ・ これからの学力
- ・ 具体的な進め方
- ・ 進めるにあたって… 特に高学年の場合 …
- ・ 読書習慣の確立

今、自力で学習する力を養う

臨時休校が続き、2か月を迎えようとしています。各教室もがらんとして寂しい毎日が続いていますが、子供たちはもちろんのこと、保護者の皆様もお元気でしょうか。新型コロナウイルスの感染は宮城県では感染確認は減ってきているものの、まだまだ予断を許さない状況です。家庭で過ごす時間も長く不自由な日が続いていますが、できるだけ3密を避け不要不急の外出を控えたり、換気を行ったりして感染を防いでいきましょう。

さて、休校中の学習について課題を発送すると同時に、動画でも学習について配信しています。これには2つの主な願いがあります。

1つ目は、動画を配信することで学校に来ることができない子供たちの気持ちを和らげようとする事です。先生方の紹介も動画でしています。学校が始まった時に、新しく来ていただいた先生とも顔なじみになっていて、すぐに学習がスタートできるようにしたいと考えています。画面を通しての初めましてですが、何となく先生方の様子が分かってきたのではないのでしょうか。

2つ目は、復習や自主学習、あるいは予習などをしっかりと行い継続した学習を行ってほしいという願いです。学校があれば、そのリズムに沿って学習は進みます。でも、今は自分を律することを学ぶ時です。指示されたからするのではなく、自分で誘惑に負けずに自らの意志で取り組む力をつける時です。それは、各学年、各専科の教師の願いです。子供たちのために無理のないように課題を模索し、決定し郵送しています。課題は、各学年に必要とされる学習を提示しています。これを、発展させじっくり取り組んでいくことで確かな学力につなげていきます。



これからの学力

2020年度から新学習指導要領のもとでの学習が始まります。新しい教科書を開くと、どのページもこれまで以上に問題解決型の学習にシフトされていることがわかります。主体的であることが求められているので、例えば学習課題の設定に取り組むなど、様々な工夫がなされています。シンキング（考え抜く力）、アクション（前に踏み出す力）、チームワーク（チームで働く力）の3つの力（社会人基礎力：経済産業省）が学校教育でも求められているのです。

聖ドミニコ学院小学校が目指す「知の育成」は勤勉な学習習慣を確立させ、思考力・判断力・表現力をつけることで、共に学び合う子供の育成を目指しています。基礎となるのは、謙虚に自分の弱さを見つめ、根気強く正していくために取り組む忍耐力です。できないことを環境や人のせいにするのではなく、自分の責任で取り組む力を育成することが、生きる力につながります。

21世紀、AIの時代を生き抜く子供たちは、共生の力をつけていくことが求められています。